

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第51号

発行日 令和6年10月8日(火)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○保護者による「放課後学習サポート」開始(10/7)。

毎週月曜日の放課後、宿題や学校が用意したプリントなど、希望する児童に対して、保護者有志(見守りサポーター)が「伴走」支援をします。以下、初日の様子です。



ホールに19人(画像)、教室で3人。計22人の児童が自分の「課題」に取り組みました。

保護者が教職員と共有するために作成した連絡帳には①「みんなでやったら楽しいなあ!」「すぐに終わったー」などの子どもたちの声②同学年や上の学年が下の学年に教えるなど、学びあうシーンが見られた③プラネタリウム体験(森の子学校)と星空観察会が繋がって、タブレットで星座を勉強している子どもがいた等、情景が目には浮かぶような報告をいただきました。

始めたばかりの取組ですから、子どもたちのために「走りながら」考えていきたいと思えます。

★★

○高校入試説明会にて。

この時期、中学校教職員に向けた公立高校及び私立高校の入試説明会が開催されます。某私立高校の説明会に出席した際の「当該校」に関する説明について、いくつか記載します。

- ①入学後のミスマッチ(こんなはずじゃなかった)を防ぐため、体験入学には参加してほしい。
- ②個別相談会を実施するので「不登校」や「起立性調節障害」など、生徒の状態については、遠慮なく相談してほしい。※環境が変わることで登校できるようになる生徒の割合は高い。
- ③ハード面から「保健室登校」「別室登校」を希望されても、「本校」では対応はできない。
- ④集団行動・集団生活ができない生徒は入学不可。